

「遙かなる道」

Hirokuni Ano

阿野汎邦写真展

2014 4.25(fri) ▶ 6.23(mon)

- 会場／八千代の丘美術館 TOKUBETU 企画展示室 会期中、作家によるワークショップ開催。詳細は裏面をご覧ください。
- 開館時間／10:00～17:00(入館は16:30まで) ■休館日／火曜日(4/29・5/6は祝日のため開館、翌日休館)
- 入館料／一般300円・65歳以上200円・小中学生200円・障がいのある方(介助者を含む)無料 ■主催／安芸高田市教育委員会・八千代の丘美術館



安芸高田市立 八千代の丘美術館 〒731-0302 安芸高田市八千代町勝田 494-7 TEL (0826) 52-3050



阿野汎邦プロフィール

広島県三次市出身

昭和 26 年 (1951)3 月 広島県立三次高等学校卒業
 昭和 30 年 (1955)3 月 日本大学芸術学部写真学科卒業
 昭和 30 年 (1955)5 月 中国新聞社入社 編集局写真部配属
 昭和 32 年 (1957)2 月 東京支社(岸・池田内閣)
 昭和 37 年 (1962)8 月 本社写真部
 昭和 54 年 (1979)3 月 写真部長
 昭和 60 年 (1983)3 月 資料部長
 平成 3 年 (1991)7 月 (株)中国データサービス取締役
 平成 5 年 (1993)3 月 中国新聞定年退社 中国データサービス取締役辞任
 平成 6 年 (1994)5 月 中国新聞キャリアカレッジ「写真術入門講座」開講

現在 中国新聞情報文化センターに移管、9 教室を運営
 日本写真芸術学会・新写真派協会 会員

著書 「山陽道 53 次」(新人物往来社刊)
 「古城の譜」(たくみ出版刊)
 「生きている伝説」(中国新聞社刊)
 (いずれも写真部時代連載企画を出版したもので共著)

ワークショップ①

「写真は見たままには写らない～自分のイメージ通りに写すには」

カメラは誰が撮っても同じように写す機械です。ところが人の視覚はさまざまです。同じ光景を見ても感じ方が違います。それが感性というものでしょうが、その違い～個性的表現が芸術へと昇華していくのではないのでしょうか。どうすれば自分のイメージした写真が撮れるのかを一緒に考えましょう。

※実習：フレーミングとシャッタータイミング。カメラの構え方。

- 日 時／平成 26 年 5 月 18 日(日) 13:00～15:00
- 対 象／創作写真を志す人
- 会 場／八千代の丘美術館研修室
- 持参物／お手持ちのカメラ
- 参加費／無料(入館料が必要です)

ワークショップ②

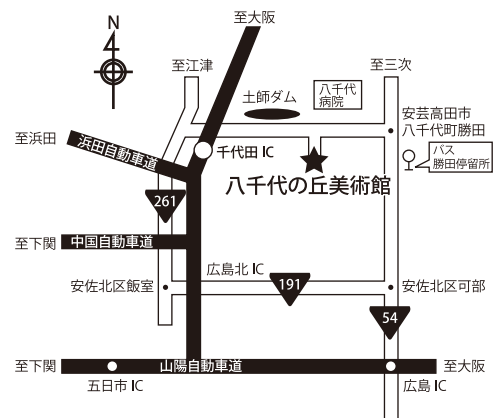
「デジタル時代の新しい常識を作ろう～不可能が可能になった」

カメラのデジタル化は写真の常識を大きく変えました。フィルムでは写せなかった光景が写せるようになったのです。つまり不可能を可能にした画期的な出来事です。どこがどう変わったかを解説します。一方で写真界では古い常識が未だに巣くっています。デジタル時代の新しい常識を、創作写真を志す人みんなで作っていきましょう。

※実習：カメラ設定(フォーカス、ISO 感度、測光・露出、ホワイトバランス・画像処理)

- 日 時／平成 26 年 6 月 8 日(日) 13:00～15:00
- 対 象／創作写真を志す人
- 会 場／八千代の丘美術館研修室
- 持参物／お手持ちのカメラ
- 参加費／無料(入館料が必要です)

ワークショップへ参加希望の方は、お電話でお申込みください。



安芸高田市立
八千代の丘美術館

〒731-0302 安芸高田市八千代町勝田 494-7
TEL (0826) 52-3050